

令和6年度「学校教育自己診断」の結果および分析

表中の数字は 1よくあてはまる 2ややあてはまる 3あまりあてはまらない 4まったくあてはまらない のうち、
1よくあてはまる と 2ややあてはまる の合計

令和6年度 学校教育自己診断（生徒） 経年比較

番号	項目	R4	R5	R6
1	岸和田高校に入学して満足している。	89.2%	91.2%	89.4%
2	岸和田高校は、授業や部活動に熱心な先生が多く、その指導方針に納得できる。	87.2%	88.1%	88.0%
3	岸和田高校での授業に満足している。	87.7%	87.7%	86.0%
4	岸和田高校は、文化祭や体育祭・校外学習などの学校行事が盛んで、生徒は楽しく参加している。	90.1%	92.9%	92.9%
5	岸和田高校は、部活動が活発で、生徒は部活動に熱心に参加している。	93.1%	92.8%	95.6%
6	岸和田高校は、課題研究をはじめとする探究的な学習や、関連行事など特色ある教育活動が行われている。	92.7%	94.3%	95.5%
7	岸和田高校での授業やさまざまな活動において、1人1台端末を積極的に活用している。	89.0%	90.3%	93.8%
8	岸和田高校は、いじめなど私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	90.9%	92.0%	93.3%
9	岸和田高校は、将来の進路や職業などについて、講演会や説明会を実施するなど適切な指導をおこなっている。	94.1%	94.5%	95.5%
10	土曜日は学校や家庭において、学習時間として活用している。 (R4,R5)土曜日の午前中は自学自習や学校の講習に参加するなど、学習時間として活用している。	49.0%	51.4%	66.1%
11	保健室や相談室などで気軽に相談できる。	64.4%	71.8%	72.3%
12	岸和田高校では、あいさつやマナーを守る指導を行うことで社会人としてのモラルを守る態度を育てるとともに、いのちの大切さを学ぶ機会がある。	81.4%	84.7%	85.1%
13	岸和田高校は、メールサービスやクラスルーム、ホームページ、校長ブログ等によって、学校の情報が発信されている。	91.0%	92.4%	93.2%
14	学校に行くのが楽しい。	87.2%	89.8%	89.5%

令和6年度 学校教育自己診断（保護者） 経年比較

番号	項目	R4	R5	R6
1	子どもが岸和田高校に入学して満足した高校生活を送っている。	90.2%	91.6%	91.8%
2	岸和田高校では、学校経営に校長のリーダーシップが発揮されている。	79.1%	82.5%	88.0%
3	岸和田高校は教員の教科指導力の向上に積極的に取り組んでおり、子どもは授業が分かりやすいと言っている。	81.5%	82.1%	78.5%
4	岸和田高校では、文化祭や体育祭などの学校行事に生徒は楽しく生き生きと参加している。	93.8%	96.4%	95.3%
5	岸和田高校の指導方針全般に共感できる。	88.2%	91.6%	90.4%
6	岸和田高校は、課題研究をはじめとする探究的な学習や、海外研修・SSH関連行事など特色ある教育活動が行われている。	93.2%	96.1%	97.0%
7	岸和田高校は、いじめなど子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	90.3%	90.5%	89.5%
8	岸和田高校は将来の進路や職業などについて、進路指導部を中心として講演会や説明会を実施するなど適切な指導を行っている。	91.8%	93.6%	90.4%
9	岸和田高校での学校行事やPTA活動に参加したことがある。	55.1%	68.7%	75.0%
10	岸和田高校は懇談や家庭連絡などを通じて、保護者と相談しやすい体制を作っている。	82.6%	86.7%	75.1%
11	岸和田高校では、あいさつやマナーを守る指導を行うことで社会人としてのモラルを守る態度を育てるとともに、いのちの大切さを学ぶ機会がある。	83.3%	83.1%	83.6%
12	岸和田高校は、メールサービスやホームページ、校長ブログ等を利用して教育活動をわかりやすく伝えている。	91.9%	93.8%	92.3%
13	子どもは、学校に行くのが楽しいと言っている。	85.3%	86.7%	87.3%

今年度の生徒及び保護者による学校教育自己診断の結果について、令和4年度から今年度まで3年間の肯定的評価の経緯も見ながら、以下のとおり分析する。

■学校生活全般

- ・生徒の「1 入学して満足している」について、昨年度は91.2%と90%を超えたが、今年度は89.4%となり、一昨年度の数値に戻ってしまった。一方、生徒の「14 学校に行くのが楽しい」については昨年度からの大きな変化はなかった。すなわち、「学校は楽しいが、満足はしていない」という生徒が増えたことになる。特に、1年生の数値が下がったことから、本校に対する期待が大きくなっているとも考えられるが、「3 授業に満足している」の数値が下がったことから、授業をはじめとした学習面に対して不満を感じる生徒が増えたことが最大の要因だと考える。なお、保護者の「1 入学して満足した高校生活を送っている」、「13 学校に行くのが楽しいと言っている」についてはともに微増している。
- ・これら2つの項目については最も重要視し、これまで取り組んできたところである。昨年度の分析でも記したとおり、1割を超える生徒が「満足していない」、「楽しくない」と考えていることを強く意識し、引き続き、学習に対する指導・支援を含めた教育活動の充実、教育環境の整備に取り組んでいきたい。

■指導方針

- ・生徒の「2 授業や部活動に熱心な先生が多く、その指導方針に納得できる」、保護者の「5 指導方針全般に共感できる」はともに、昨年度がここ数年での最高値となり、今年度は微減した。概ね、納得・共感してもらっているとはいえ、この項目についても1割を超える「納得できない」、「共感できない」との声があることに対し、改善すべき意見の把握に努め、今後、改善に向けた取組を進めていきたい。
- ・保護者の「2 学校経営に校長のリーダーシップが発揮されている」については、この3年間で最も高い数値となった。校長3年めとなり、校長の動きを認知し、考えを理解してもらえてきたのかと考える。来年度も継続して、本校の教育方針や教育に対する校長としての考えを保護者の方に理解してもらえるような機会や取組の充実を図っていきたい。

■学習指導

- ・生徒の「3 授業に満足している」は86.0%と数値を下げてしまった。さらに、保護者の「3 授業が分かりやすいと言っている」についても、78.5%と数値が大きく下がった。この授業に対する満足度の低下が、上記の「学校は楽しいが、満足はしていない」という意見につながっているものと考えられる。今回の自由記述や授業アンケートでも個別具体的な多くの意見をいただいた。こうした意見を十分に受け止め、すべての教員の教科指導力の向上に向けて、学校として組織的な取組を継続していきたい。
- ・一昨年度から追加した生徒の「7 1人1台端末を積極的に活用している」は93.8%まで上昇した。1人1台端末が導入されて4年めとなり、活用が定着してきたものとする。今後さらに生徒一人ひとりが端末を有効に活用できるよう、また、授業改善に効果的なツールとなるよう取組をすすめていきたい。
- ・「6 課題研究をはじめとする探究的な学習や特色ある教育活動が行われている」については、生徒、保護者とも3年連続で数値が上昇し、それぞれ95.5%、97.0%となった。この項目については、「探究的な学習」と「特色ある教育活動」の2つの内容が含まれているが、どちらもこの間の取組の充実が数値上昇の要因として考えられる。それぞれの分析は以下のとおりである。
- ・課題研究についてはSSH第Ⅲ期の取組として、教科別中心であった分類を課題別に変更し、生徒たちが自ら取り組みたい研究テーマを設定できるようにした。また今年度から3学年同じ時間帯で課題研究に取り組んでおり、学年を超えた活動なども多く取り入れるようにした。さらに、プロジェクト“Nova”の取組が課題研究の充実につながり、発表会などにおいて大きな成果をあげている。今後も、生徒たち一人ひとりが自ら設定した研究テーマを「自分事」として捉えながら探究的な実践を行うことにより、課題発見・解決能力をはじめとした、これから求められる資質・能力の育成を図っていきたい。
- ・特色ある教育活動については、海外研修の実施がこの数値の上昇に寄与したものとする。昨年度からオーストラリア研修を再開するとともに、今年度は新たにイギリス研修も実施した。これらの海外研修

にはたくさんの生徒が参加してくれた。今後も GLHS として、また SSH として、海外研修のみならず、様々な特色ある教育活動の充実に努めていきたい。

- ・生徒の「10 土曜日は学校や家庭において、学習時間として活用している」については、これまでの「土曜日午前中」という限定を外した内容の項目である。部活と勉強の両立に向けて、学習時間の確保が求められる中、学習習慣の定着が大きな課題である。学習時間の保障に向けて、取組の工夫・改善を行うとともに、生徒には継続して時間の有効活用を訴えていきたい。

■進路指導

- ・生徒の「9 将来の進路や職業などについて、講演会や説明会を実施するなど適切な指導をおこなっている」は 95.5% となり、ここ 3 年で最も高い数値となった。今年度から「進路 HR」として進路に係る内容のホームルームを増やしたことが要因の一つだと考えられる。一方、保護者の同様の項目は 90.4% と下がってしまった。この要因について進路指導部を中心に検討し、改善に努めていきたい。
- ・今後も生徒一人ひとりが具体的な目標、「高い志」をもって学習に取り組むことができるよう、生徒に対する適切な進路指導を 3 年間で計画的に実施するとともに、保護者の方に対する進路に関する丁寧な情報発信と相談体制の構築を図っていきたい。

■生徒指導

- ・生徒の「12 あいさつやマナーを守る指導を行うことで社会人としてのモラルを守る態度を育てるとともに、いのちの大切さを学ぶ機会がある」は 85.1%、保護者の同様の項目については 83.6% であり、いずれもこの 3 年間で最も高い数値となった。今後も引き続き、あいさつやマナー指導をはじめ、すべての教員が生徒に対する指導の重要性を認識したうえで、学校としての指導方針に基づき一致した指導が行えるよう取り組んでいきたい。

■教育相談

- ・生徒の「8 いじめなど私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」は 93.3% であり、3 年間で最も高い数値となった。保護者の同様の項目については 89.5% となり、数値はやや下がった。
- ・生徒の「11 保健室や相談室などで気軽に相談できる」は 72.3% となり、この項目においても 3 年間で最も高い数値となった。学習面や人間関係などで悩みを抱える生徒が一定数いる中、保健室や相談室をはじめ、さらに生徒が相談しやすい体制づくりに努めていきたい。

■学校行事・部活動

- ・「4 文化祭や体育祭、校外学習などの学校行事が盛んで、生徒は楽しく参加している」の項目については生徒が 92.9%、保護者が 95.3% であり、高い数値を維持している。
- ・生徒の「5 部活動が活発で、生徒は部活動に熱心に参加している」は 95.6% となり、3 年間で最も高い数値となった。実際に、部活動に加入している生徒の、のべ人数の割合が 95% を超える状況にある。

■発信・広報

- ・生徒の「13 メールサービスやクラスルーム、ホームページ、校長ブログ等によって、学校の情報が発信されている」は 93.2%、保護者の同様の項目については 92.3% であった。昨年度から校長ブログの充実を図るとともに、今年度はホームページの更新に努め、インスタグラムを新たに開設した。今後も、本校の教育活動に関する発信により一層、尽力していきたいと考えている。

■PTA活動等

- ・保護者の「9 学校行事や PTA 活動に参加したことがある」は 75.0% であり、一昨年度の 55.1% から 20% 増加したことになる。実際に、多くの保護者の方に、文化祭や体育祭をはじめとした学校行事や PTA 活動などにご来校いただいたとの実感があつた。
- ・一方、保護者の「10 懇談や家庭連絡などを通じて、保護者と相談しやすい体制を作っている」は 75.1% となり、昨年度より約 10% 下げてしまった。この結果を学校として真摯に受け止め、下げた要因についての検証と改善をすすめ、今後はより一層、こまめな家庭連絡をはじめ、保護者の方と一緒に生徒への指導・支援を行うことができるようにしていきたいと考えている。